JCI
2017年 12月号 NO.546　発行:公益社団法人 北見青年会議所 総務広報委員会

若いちから

題字／第60代理事長 山本英和

理事長あいさつ

第六十代理事長
山本 英和

「一隅を照らす　これ則ち国宝なり」

天台宗　伝教大使　最澄氏のお言葉を冒頭にお借りし理事長所信を書き記し、メンバーと共に歩んだ青年会議所運動も残りわずかとなりました。本年も先輩の皆様には、私どもの運動に対し、多大なるご支援、ご協力を賜り、心より感謝と御礼を申し上げます。

本年を振り返りますと、「挑戦しよう！！～人と人とが生み出す無限の可能性を信じて～」この言葉をスローガンに全メンバーで輝く北見を創造するため青年会議所運動に邁進して参りました。65年という節目の年を迎えるにあたり、この先70年、100年と北見青年会議所が持続的に発展するための起点となるにはどうあるべきなのか。答えを探しながらも、JAYCEEである以上、変革を恐れず挑戦することで、未来への光を見出し、道が開けると信じ進んできました。猛暑と豪雨の中でも笑顔に包まれた第64回北見ほんちまつり、市民と共に作り上げた第９回北見ハーフマラソン大会、子どもたちの感動体験の場となった青少年育成事業、地域の魅力を新しい形で発信をした65周年記念事業等多くの対外的な事業を行う中、地域のリーダーとして人の心を動かす人財へと成長するための自己研鑽の場も作りあげて来ました。各例会、事業を行うたびに、メンバーの成長を肌で感じ、私自身が全メンバーに支えられていること、地域の皆様に支えられていることを感じました。共に歩んでいただいた仲間には感謝の心しかありません。

本年一年間、理事長の職をお預かりし、改めて先輩の皆様が65年という長い年月をかけ築き上げてきた歴史の重みや地域からの信頼、若者に対する期待の大きさを痛感しました。メンバー、そして先輩の皆様に背中を押していただき歩んできた2017年もあとわずかで幕を閉じますが、12月31日まで気を抜くことなく挑戦を続けてまいります。2018年は、高橋次年度理事長予定者を筆頭に2019年に開催される北海道地区大会北見大会開催の前年として北見青年会議所の凛然たる姿勢を全道中に広めていかなくてはいけません。先輩の皆様には、変わらぬご支援、ご協力、そしてご指導を賜りますようお願い申し上げます。

大変お世話になりました。感謝。

2017年度 卒業予定者紹介

2017年度ご卒業の皆さんを紹介致します。

大津 裕幸 君
入会：2015年1月
教育推進委員会

金山 隼人 君
入会：2014年1月
総務広報委員会
出向者連絡会議 議長

森　大悟 君
入会：2014年1月
副理事長　兼
人財育成室室長

中村 弘毅 君
入会：2012年1月
研修委員会

鹿中 源太郎 君
入会：2011年1月
アカデミー委員会
委員長

柳瀬 良太 君
入会：2011年1月
監事

村川　証 君
入会：2010年1月
未来の力確立委員会
委員長

村井 一介 君
入会：2007年1月
直前理事長

吉岡 俊英 君
入会：2007年1月
活力創生委員会
委員長

9月例会

9月22日（金） 担当：委員長連絡会議
本年も会員拡大の手法として異業種交流会を行いました。北見市に住む、20代～30代の青年を対象に、地域にとって自分が必要な存在ということを理解してもらい、この地域に住まう責任世代として地域の未来を考えていただける機会となりました。

10月第1例会

10月7日（土）・8日（日） 担当：地域協働委員会
第9回ハーフマラソン大会を開催致しました。
人と人とのつながりを強くすることでひとづくりへとつなげ、地域住民、関係諸団体と共に地域の課題に向き合いまちづくりへの意義を感じることができました。

10月第2例会

10月24日（火） 担当：次年度専務理事
次年度事業へ向けていよいよスタートしました。
2018年度の準備をしっかり行い、さらに力強い青年会議所運動を行っていきます。理事長所信や基本方針をはじめ各室及び各委員会等の方針・活動計画を発表し、理解する機会となりました。

11月例会

11月7日（火） 担当：研修委員会
研修委員会の本年度最後の例会として、「創造しよう自己成長のために」を開催致しました。人の心を動かす人財となる歩みの集大成として、物事を様々な方向から考える「ラテラルシンキング」、そして論理的に考える「ロジカルシンキング」を例会内容に盛り込み構築しました。

JCI 公益社団法人 北見青年会議所
〒090-0065 北海道北見市寿町3丁目1-19　TEL.0157-24-2762　FAX.0157-24-2769
http://www.kitamijc.or.jp　E-mail:info@kitamijc.or.jp

2017年度 直前理事長 御礼

2018年度 直前理事長　村井　一介

本年は直前理事長として北見青年会議所の運動をサポートさせていただき、北海道地区・日本JCにも出向させていただきました。卒業年度を迎え、後輩に何が残せるのか模索しながら過ごした一年でありました。在籍11年、先輩の皆様には大変お世話になり多くの学びをいただきましたことに心から感謝申し上げます。誠にありがとうございました。皆様にとりまして輝かしい新年が訪れますようご祈念申し上げます。

2017年度　各委員会 御礼

未来の力確立委員会 委員長　村川　証

本年度、(公社)北見青年会議所65周年記念式典及び懇親会を担当する委員長を務めさせて頂きました。65年に亘る輝かしい歴史や伝統、地域に必要とされてきたJAYCEEの誇りを未来へ紡ぐために厳粛な雰囲気で記念式典を開催しました。そして、永くご理解とご協力をいただいた全ての皆様に敬意と感謝を伝える懇親会を開催し、さらに絆を深める機会を創出しました。また、記念事業として北見を愛する地域住民や全国からそれぞれの視点による北見の魅力を動画形式で募集し、イオンシネマにてコンテストを開催しました。新しい発想と価値観から地域が一体となる記念事業を開催することで、地域の明るい未来を描き青年会議所運動に邁進するための原動力となりました。委員会メンバーを支えていただきました諸先輩方、LOMメンバーの皆様には心より感謝申し上げます。

教育推進委員会 委員長　山口　冬樹

本年度、教育推進委員会は、いつの時代も青少年や子どもたちが成長するために必要なのは多様な経験から自立心や愛郷心を育み人間性を豊かにすることであると考え活動につなげてまいりました。一年間の活動の中で地域の魅力を体験し、青少年や子どもたちの笑顔を生み、自立心と愛郷心を育んでいくことができました。多くのご支援、ご協力を頂きました先輩諸氏の皆様、熱き友情で支えて頂いたLOMメンバー、そして、私の想いに向き合い最後までやり遂げてくれた委員会メンバーに心より感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。

活力創生委員会 委員長　吉岡　俊英

本年度、活力創生委員会は、「挑戦しよう!～力強い地域の未来へ～」をテーマに掲げ、3月例会では、地方創生の必要性をメンバー全員で共有し、地域の魅力を生かした政策立案を学ぶことで、共に北見市の未来を考え地域の活力につなげるための例会をおこないました。また、当委員会のメイン事業である、第64回北見ぼんちまつりを担当させていただき、多くの地域住民の笑顔を創り出すために、多くの関係諸団体の皆様のご協力をいただきましたことを深く御礼申し上げます。
最後に、活力創生委員会の委員長という役職を与えてくれた山本理事長、そして四役と委員会の間で大変お世話になりました山中福理事長へ感謝を申し上げると共に、一年間副委員長として支えてくれた田中副委員長、村口福委員長、そして共に活動した活力創生委員会メンバーに心より感謝申し上げます。楽しい一年間、ほんとうにありがとうございました。

地域協働委員会 委員長　三橋　裕樹

地域協働委員会は、「愛する地域のために ～共に学び、共に進み、共に創ろう!～」をテーマに掲げ、地域住民と共に愛郷心を醸成し、自分たちのまちは自分たちで創るという当事者意識を高め積極的に行動できるひとづくりを行ってきました。
地域貢献への意義やまちづくりに対する当事者意識を高めるため、地域住民と共に第9回北見ハーフマラソン大会を創りあげ、当日は多くのランナーや来場者をお迎えし多くの笑顔が溢れる大会を開催いたしました。
多大なご協力とご支援をいただいた先輩諸氏やメンバーの皆さま、そして最後まで支えていただいた委員会メンバーの皆さまに心から感謝いたします。一年間ありがとうございました。

研修委員会 委員長　和田　美紀

「育てよう!～人の心を動かす力～」をテーマに、共感力、観察力、表現力、創造力を育てる例会を本年度3回行わせていただきました。どの例会も真っ新な状態から委員会メンバーで創り上げる機会を与えてくださったこと、LOMメンバーが地域に求められるリーダーになるための資質向上に取り組む大切な担いを任せていただいたこと深く感謝申し上げます。
また、日本JC公認プログラムであるディベートセミナーを開催することができましたのも、多くのご支援、ご協力をいただいた先輩諸氏の皆さま、そしてLOMメンバーの温かい友情があったからです。皆さま、心より御礼申し上げます。
1年間ありがとうございました。

アカデミー委員会 委員長　鹿中　源太郎

伝統あるアカデミー委員長として活動させていただき、早くも1年が経とうとしています。
10名からスタートしたアカデミーメンバーは4月の途中入会で11名になり、小椋副委員長、清野副委員長の支えをいただきながら年当初掲げた委員会方針を忘れることなく思いやりに満ちた人財への成長を心がけて活動してまいりました。アカデミーメンバーと多くの時間を過ごしてきたこの1年間は私自身も共に成長させていただいた1年でした。
現役最後の年にこのような貴重な経験をさせていただいた山本理事長をはじめとするメンバーの皆様、そして伝統あるアカデミー委員会を紡いで来られた先輩諸氏の皆様に心より感謝を申し上げます。
2017年度アカデミーメンバーを今後ともお支えいただきますようお願い申し上げます。
1年間大変お世話になりありがとうございました。

総務広報委員会 委員長　東雲　知世

本年度、LOMの下支えとして総務広報委員会委員長を務めさせていただきました。細やかな総務運営と情報発信を心がけて日々活動してまいりましたが、新年交礼会、要覧作成、一歩前への改定、そしてこの若いちからでは、先輩諸氏の皆様とLOMメンバーの多大なご理解と、ご協力があったからこそ一年間成長させていただくことができました。そして、一年間本当に忙しい時間をともに過ごし支えてくれた、委員会メンバーがいたからこそ乗り越えることができると確信しております。いつも暖かい目で見守ってくださる先輩諸氏の皆様、LOMメンバーの皆様に深く感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。

出向者連絡会議 御礼

議長　金山　隼人

本年度、出向者連絡会議議長として一年間活動させていただきました。多くの出向メンバーと共に役割と責任を自覚し、(公社)日本青年会議所の各事業、諮会議へ積極的に参画し、メンバーの参加推進を図ってまいりました。出向先での情報を発信し、一人ひとりがJAYCEEとしての力を高め、LOMの発展へと導く活動となりました。また、北方領土返還要求署名活動では、LOMが一丸となり実施したことで地域住民の関心を高め、北方領土問題解決へのさらなる後押しにつなげることができました。例会を持たない会議体ということで運営面に苦労した場面もありましたが多くのご支援、ご協力いただいた先輩諸氏の皆様と支えて頂いたメンバーの皆様に心より感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。